

日本赤十字社 災害義援金チャリティー

# 第37回全関西空手道選手権大会

令和8年5月31日 タケダハム はびきのコロセアム・メインアリーナ  
(羽曳野市総合スポーツセンター)

極真会

主催：国際空手道連盟 極真会館

主管：国際空手道連盟 極真会館 大阪南支部

プロフィール

1963年1月15日、東京都出身。

極真空手の創始者・大山倍達総裁に憧れ中学時代に極真会館入門。

恵まれた素質と不断の努力により、わずか17歳で全日本大会に初出場し、堂々4位入賞を果たして非凡さを世に知らしめた。1985年第17回、1986年第18回全日本大会優勝。翌1987年の第4回世界大会も制し、大会三連覇を達成。また1986年には極真空手最大の荒行、百人組手を完遂。

現役選手時代は俊敏にして華麗な組手から「空手界の貴公子」と称され、多くのファンを魅了した。

その後、後進の指導にあたりつつ、大山総裁の下で武道哲学を学び、1994年大山総裁の死去に伴い、総裁の途きを継ぎ国際空手道連盟極真会館の館長に就任。

現在、世界の極真会館の解職活動の運営と極真空手の普及・発展を目指し、東西走の日々を送る。



国際空手道連盟 極真会館 館長

## 松井 章奎

本日は、『第37回全関西空手道選手権大会』に御来場いただき誠にありがとうございます。本大会の開催に際し、温かい御支援、御協力を賜りました多くの皆様方に厚く御礼申し上げます。

私共、国際空手道連盟 極真会館にとって、2023年は創始者・大山倍達生誕100年と4年に一度の全世界空手道選手権大会が重なり、翌2024年は大山倍達没後30年と国際空手道連盟 極真会館 創立60周年の節目の年でした。そして、昨年2025年は次の70周年、80週年、将来的な100周年に向けたリスタートの年であり、そのリスタートを象徴するイベントとして4月に第7回全世界体重別空手道選手権大会、12月には国内における最大行事とも言える第57回全日本空手道選手権大会を執り行いました。記念年が続く中で、これら毎年の恒例行事を無事滞りなく終了できましたのも、偏に皆様方の深い御理解と御協力の賜物であると、この場をお借りして心から御礼を申し上げます。

また、先の第57回全日本大会を、公益財団法人 全日本空手道連盟の御協力をいただき、日本空手道会館にて開催できたことは、多数の団体が乱立する空手界において、今後に繋がる連帯や団結を内外に示すものになったと考えております。

前述の第7回全世界体重別選手権大会がリスタートを象徴するイベントであるならば、来年2027年に予定される体重無差別の空手世界一を競う「第14回全世界空手道選手権大会」は、未来へ向けた大きなステップと位置付けられるイベントになります。その世界大会に先立ち、今年11月7日（土）8日（日）には”世界前哨戦”とも言うべき「第58回全日本空手道選手権大会」を東京体育館にて開催致します。この大会は翌年の世界大会に向けた日本代表選手選抜大会となっており、全国から多くの強豪選手や海外の招待選手の参加が見込まれ、例年以上に注目を集める大会となりますので、ぜひ皆様方にも楽しみにしていただきたいと思います。

加えて7月には昨年から国際空手道連盟に賛助会員として加盟していただいた全日本真正空手道連盟 真正会との共同主催で全日本体重別空手道選手権大会を、従来行ってきた全日本ウェイト制大会と兼ねる形で、今年は諸般の事情により東京・墨田区総合体育館にて開催致します。この大会でも新人選手の台頭やベテラン勢の活躍、新たな強豪選手の参加など、世界大会前年にふさわしい熱戦が展開され多くの刺激が得られる大会になると予想されますので、こちらもぜひ期待していただくと同時に御理解と御協力をお願い致します。

さて、本大会は、従来の組手の実戦的競技性を受け継ぎ、幼年から壮年までの幅広い年代層の選手や道場生が日頃の稽古の成果を試す場として、年齢別、体重別等の各カテゴリーに分かれて『心・技・体』を競い、競技を通じて技術交流や文化的親睦を深めるという趣旨で開催されます

その一方で「国際空手道連盟 極真会館」が、『競技団体』ではなく『武道団体』であり『社会体育団体』であるとすれば、極真会館においての競技会・大会というのは、参加する選手にとって、また主催・運営する側にとっても一つの修行の場でなければならないということが言えると思います。武道・武術である以上は「最強を目指す」という意味での『実戦性』が示されること。競技会である以上は、師が『地に沿った基本、理に適った型、華麗なる組手』『品格と理念のある空手が極真空手である』と常々教示されたように、美しい技の競い合いがなされる『競技性』が示されること。そして社会体育活動である以上は、『安全性』が担保されていること。またそこに極真精神を象徴する『武道性』が顕れる大会でなければならないということです。この『実戦性』、『競技性』、『安全性』、そして武道としての『精神性』や極真としての『理念』が顕在化される『修行の場』としての競技会・大会でなければなりません。

また、私達は、師から極真は『勝負偏重主義』であると教示されてきました。これは決して『勝利至上主義』ではなく、『勝』『負』のそれぞれを同様に重んじ受け止めるという精神です。試合には必ず勝者・敗者が生まれますが、『勝って驕らず、負けて挫けず』の精神を以て、各々がそこで得た結果を受け入れ、学んだことを明日からの稽古に活かし、さらなる成長を目指すということですので、選手の皆さんはぜひこれらの主旨を心に刻み、自身の力を存分に発揮すべく正々堂々と本日の試合に臨んでいただき、競技を通じ多くの刺激を得て今後の活動や各々の日々の生活においてプラスに転化させてほしいと願っています。

改めまして、私共、「国際空手道連盟 極真会館」は、我々の師である大山倍達が波乱万丈の人生の中で様々な経験を経て導き出した『頭は低く、目は高く、口を慎んで心広く、孝を原点として他を益する』という極真の理念に基づき、『真を極める』という志を団体名として活動を展開する武道団体です。また極真空手とは、師が教示した『実践なくば証明されず、証明なくば信用されず、信用なくば尊敬されない』『力なき正義は無能なり、正義なき力は暴力なり』という独自の精神性に則った『実践空手・実戦空手』（実際に行うという意味と実際に戦うという意味を併せ持つ空手）を標榜する空手道であり、日々稽古に精進する中で『最強』『一撃必殺』といった武術の理想を追求するとともに、『極真会館・命知元年』で示した『世界平和を目指し、武道空手道の普及による社会体育活動を通じて、社会に有用たる人材の育成に努める』という団体活動目的と『最強求道の志・相互互惠の志・永続繁栄の志』という3つの団体活動指針を基盤としています。

極真会館は、日本の優れた伝統文化である武道精神と極真空手の普及を通じて「心・技・体」とともに人格の陶冶、健全な青少年の育成、シニア世代の健康増進、社会福祉、国際交流など『武道を通じて社会に貢献する』『武道を通じて世界平和に寄与する』という信念の下、武道団体・社会体育団体として今後も様々な活動に邁進していく所存です。

尚、極真会館では2011年3月の東日本大震災以降、国内の全ての大会や行事を災害義援金チャリティーとして開催しております。被災された各地の一日も早い復興を願い、今後も継続的にチャリティー活動を行ってまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、改めて本大会開催にあたり多大なる御支援、御協力を賜りました全ての皆様方に敬意を表し、衷心より感謝を申し上げ、私の挨拶に代えさせていただきます。  
本日は誠にありがとうございました。

国際空手道連盟 総本部 極真会館  
館長 松井章奎

「一撃の衝撃から、生涯の道へ」

15 歳の時、私は初めて「生の空手」を観ました。それが、この全関西空手道選手権大会でした。

当時の大会は一般青年男子が中心の、いわば熱気あふれる興行大会が主流であり、友人から二千円のチケットを購入して会場へ向かいました。

そこで大会序盤に目撃した、鮮やかな上段回し蹴りによる一撃の失神 KO——。誰かも知らない選手でしたが、その圧倒的な衝撃に心が震えました。



あの瞬間に、私の人生のすべてが決まったのだと思います。

それから丁度十年後。私は選手としてその舞台に立ち、重量級で優勝。翌年には連覇を達成し、そこから闘いの舞台を全国、そして世界へと移すことになりました。

さらに 2005 年からは、今大会の会場であるこの「はびきのコロセアム」に道場を開設して道場主としてのキャリアをスタートさせ、昨年、お陰様で開設 20 周年を盛大に迎えることが出来ました。

そして今回、この歴史ある大会に主催者として携わることになります。

振り返れば、この全関西大会との不思議な縁が、今の私という人間を創り上げたと言っても過言ではありません。

試合場は、単なる勝敗を競う場ではありません。己の生き様が剥き出しになる「修行の場」です。世の中には、血の滲むような努力が、たった一つの不運や理不尽によって霧散することがあります。

それは空手の世界に限らず、選手の皆さんがこれから歩いていく実社会そのものです。理不尽を突きつけられた時、審判を睨むのか、己の力不足を噛み締めるのか。倒された時、痛みに屈するのか、その痛みすらも熱量に変えて立ち上がるのか。その選択にこそ、皆さんの「真価」が宿ります。

理不尽をも飲み込み、尚も「押忍」と十字を切り、次の一步を踏み出す。

その気高さこそが、極真空手が追求する真の強さです。かつて 15 歳の私が観客席で魂を揺さぶられたように、皆さんの覚悟に満ちた戦いは、今日この会場にいる誰かの人生を変える力を持っています。

関西で極真空手の火を絶やさず、さらに高く。

私の人生そのものであるこの「全関西」が、皆様の心に深く刻まれる一日となることを切に願います。

令和八年五月三十一日  
国際空手道連盟 極真会館 大阪南支部長  
徳田 忠邦

## 全関西空手道選手権大会(一般選手権) 歴代優勝者

|                 |                    |              |             |            |  |                 |              |
|-----------------|--------------------|--------------|-------------|------------|--|-----------------|--------------|
| 第1回大会<br>1985年  | 無差別<br>西山 芳隆       |              |             |            |  | 第24回大会<br>2011年 | 無差別<br>岡田祐樹  |
| 第2回大会<br>1986年  | 無差別<br>西山 芳隆       |              |             |            |  | 第25回大会<br>2012年 | 無差別<br>下川晃毅  |
| 第3回大会<br>1987年  | 無差別<br>高橋 祐一       |              |             |            |  | 第26回大会<br>2013年 | 無差別<br>有馬美優士 |
| 第4回大会<br>1988年  | 無差別<br>辻原 和秀       |              |             |            |  | 第27回大会<br>2014年 | 無差別<br>山田 樹  |
| 第5回大会<br>1989年  | 無差別<br>園田 直幸       |              |             |            |  | 第28回大会<br>2015年 | 無差別<br>徳田寛大  |
| 第6回大会<br>1990年  | 無差別<br>三明 広幸       |              |             |            |  | 第29回大会<br>2016年 | 無差別<br>間瀬場 亮 |
| 第7大会<br>1991年   | 重量級<br>鈴木 国博       | 軽量級<br>宇陽 隆文 |             |            |  | 第30大会<br>2017年  | 無差別<br>岡田祐樹  |
| 第8大会<br>1992年   | 無差別<br>江崎 貴史       |              |             |            |  | 第31大会<br>2018年  | 無差別<br>山崎一央  |
| 第9大会<br>1993年   | 無差別<br>上原 淳        |              |             |            |  | 第32大会<br>2019年  | 無差別<br>大秦稜司  |
| 第10回大会<br>1994年 | 無差別<br>堀池 典久       |              |             |            |  | 第33大会<br>2022年  | 無差別<br>大秦零司  |
| 第11回大会<br>1996年 | 無差別<br>堀池 典久       |              |             |            |  | 第34大会<br>2023年  | 一般部なし        |
| 第12回大会<br>1999年 | 重量級<br>堀池 典久       | 軽量級<br>能正 秀明 |             |            |  | 第35大会<br>2024年  | 無差別<br>長澤龍馬  |
| 第13回大会<br>2000年 | 重量<br>徳田忠邦         | 中量<br>倉田尚彦   | 軽量<br>能登 和幸 |            |  | 第36大会<br>2025年  | 無差別<br>長澤龍馬  |
| 第14回大会<br>2001年 | 重量<br>徳田忠邦         | 中量<br>倉田尚彦   | 軽量<br>長原 士郎 |            |  |                 |              |
| 第15回大会<br>2002年 | グランドチャンピオン<br>山下武範 | 重量<br>本間 徹   | 中量<br>池本 理  | 軽量<br>山下武範 |  |                 |              |
| 第16回大会<br>2003年 | グランドチャンピオン<br>松岡明彦 | 重量<br>中川正士   | 中量<br>倉田尚彦  | 軽量<br>松岡明彦 |  |                 |              |
| 第17回大会<br>2004年 | 無差別<br>菊野克紀        |              |             |            |  |                 |              |
| 第18回大会<br>2005年 | 無差別<br>本間徹         |              |             |            |  |                 |              |
| 第19回大会<br>2006年 | 無差別<br>倉田尚彦        |              |             |            |  |                 |              |
| 第20回大会<br>2007年 | 無差別<br>樋口恵士        |              |             |            |  |                 |              |
| 第21回大会<br>2008年 | 無差別<br>木下 成準       |              |             |            |  |                 |              |
| 第22回大会<br>2009年 | 無差別<br>秋月 祐哉       |              |             |            |  |                 |              |
| 第23回大会<br>2010年 | 無差別<br>秋月 祐哉       |              |             |            |  |                 |              |

先人達の頂へ

# 第37回全関西空手道選手権大会

## 大会式次第

|       |      |
|-------|------|
| 9:00  | 開場   |
| 9:30  | 受付開始 |
| 10:00 | 開会式  |
| 10:30 | 型試合  |
| 12:30 | 組手試合 |
| 17:00 | 閉会式  |

※進行状況により時間が変動する場合があります。

## 会場図

| 本部席                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Aコート                                                                                                                        | Bコート                                                                                                                                                                                                              | Cコート                                                                                                                                                                           | Dコート                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <b>【午前：型競技】</b><br>・上級 中学生～一般<br><br><b>【午後：極真ルール】</b><br>・高校生男子-65kg級<br>・高校生女子 無差別<br>・一般新人男子<br>・一般男子選手権大会<br>・一般女子選手権大会 | <b>【午前：型競技】</b><br>・上級 壮年35歳以上<br><br><b>【午後：極真ルール】</b><br>・(初級)小1・2年男女混合<br>・(初級)小3・4年男子<br>・(初級)小3・4年女子<br>・(初級)小5・6年男子<br>・中学1年生男子 無差別<br>・中学2・3年男子-55kg級<br>・中学2・3年男子+55kg級<br>・中学生女子 -45 kg<br>・中学生女子 +45 kg | <b>【午前：型競技】</b><br>・初級 幼年～2年生全<br>・初級 小学2・3年生<br>・初級 小学5・6年生<br><br><b>【午後：極真ルール】</b><br>・(上級)幼年男女混合<br>・(上級)小1年生 男女混合<br>・(上級)小学2年生男子<br>・(上級)小3年生男子-30kg<br>・(上級)小4年生男子+30kg | <b>【午前：型競技】</b><br>・上級 小学3・4年生<br>・上級 小学5・6年生<br><br><b>【午後：極真ルール】</b><br>・(上級)1年生女子<br>・(上級)小学3年生女子<br>・(上級)小学4年生女子<br>・(上級)小4年生男子-30kg<br>・(上級)小5年生男子-35kg<br>・(上級)小5年生男子+35kg<br>・(上級)小6年生男子+40kg<br>・壮年35～42歳 -75kg級<br>・壮年35～42歳 +75kg級<br>・壮年43～49歳 無差別<br>・壮年50歳以上 -75kg級<br>・壮年50歳以上 +75kg級 |

## 試合規定・防具規定

### 【型競技規定型】

| カテゴリー         | 予選指定型 | 決勝指定型   |
|---------------|-------|---------|
| (初級)小学幼年～小学2年 | 太極その1 | 足技太極その2 |
| (初級)小学3・4年    | 太極その1 | 平安その1   |
| (初級)小学5・6年    | 平安その1 | 平安その3   |
| (上級)小学3・4年    | 平安その3 | 平安その4   |
| (上級)小学5・6年    | 平安その5 | 撃砕その3   |
| (上級)中学生～一般    | 撃砕その3 | 抜塞      |
| (上級)壮年35歳以上   | 最破    | 抜塞      |

### 【表彰について】

- ・各カテゴリー決勝戦終了後、試合場コートにてメダル・トロフィーの授与を行います。
- ・一般選手権以外のカテゴリーの表彰状は後日支部に発送致します。
- ・表彰ブースはご自由にお使いください。

### 【組手防具規定】

| カテゴリー   | ヘッドガード   | 拳   | すね  | ひざ  | 金的カップ | 胴プロテクター | マウスガード          | チェスト(女)            | アンダー(女)            |
|---------|----------|-----|-----|-----|-------|---------|-----------------|--------------------|--------------------|
| 幼年男女    | 公認品又は指定品 | 公認品 | 公認品 | 公認品 | なし    | 公認品     | なし              | 幼年～4年任意<br>5・6年公認品 | 幼年～4年任意<br>5・6年公認品 |
| 小学生男子   | 公認品又は指定品 | 公認品 | 公認品 | 公認品 | 既製品   | 公認品     | なし              | なし                 | なし                 |
| 小学生女子   | 公認品又は指定品 | 公認品 | 公認品 | 公認品 | なし    | 公認品     | なし              | 幼年～4年任意<br>5・6年公認品 | 幼年～4年任意<br>5・6年公認品 |
| 中学生男子   | 公認品      | 公認品 | 公認品 | 公認品 | 既製品   | 公認品     | 歯科医作成品          | なし                 | なし                 |
| 中学生女子   | 公認品      | 公認品 | 公認品 | 公認品 | なし    | 公認品     | 歯科医作成品          | 公認品                | 公認品                |
| 高校生男子   | 公認品      | 公認品 | 公認品 | 公認品 | 既製品   | なし      | 歯科医作成品          | なし                 | なし                 |
| 高校生女子   | 公認品      | 公認品 | 公認品 | 公認品 | なし    | なし      | 歯科医作成品          | 公認品                | 公認品                |
| 壮年      | 公認品      | 公認品 | 公認品 | 公認品 | 既製品   | なし      | 公認品             | なし                 | なし                 |
| 一般新人    | 公認品      | 公認品 | 公認品 | 公認品 | 既製品   | なし      | 公認品又は<br>歯科医作成品 | なし                 | なし                 |
| 一般女子選手権 | 公認品      | 公認品 | 公認品 | 公認品 | なし    | なし      | 公認品             | 公認品                | 公認品                |
| 一般男子選手権 | なし       | なし  | なし  | なし  | 既製品   | なし      | 任意              | なし                 | なし                 |

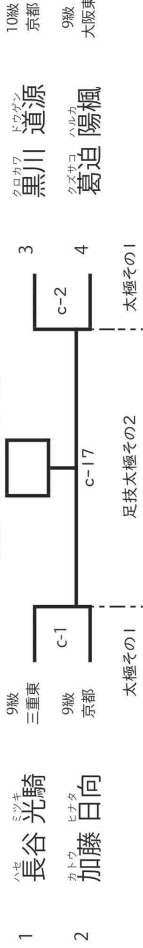
※全関西大会では、公認品に加え、指定品も使用可能です。

※各自指定の防具を持参してください（全ての防具について貸出は行いません）。

I KO 型競技ルール (初級)幼年～小学2年生

予選・決勝戦 共に2人同時に演武 旗判定で決着

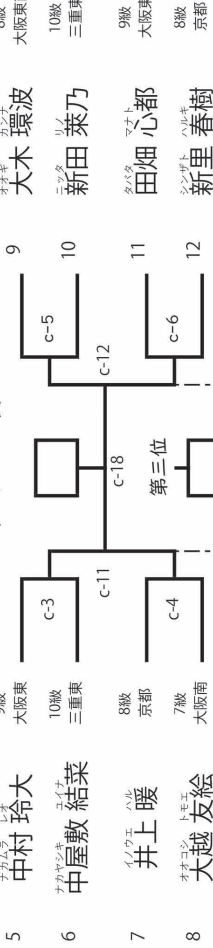
優勝・準優勝まで入賞



I KO 型競技ルール (初級)小学3・4年生

予選・決勝戦 共に2人同時に演武 旗判定で決着

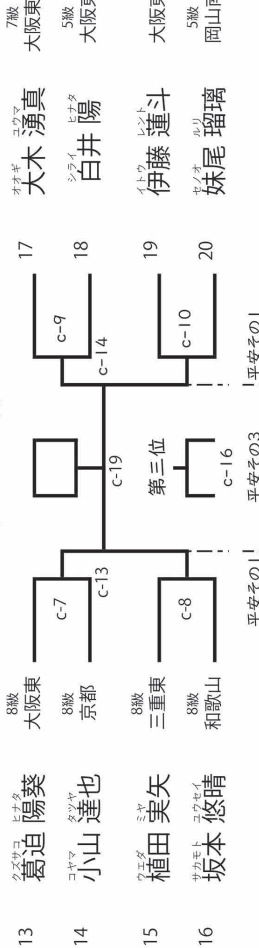
第三位まで入賞



I KO 型競技ルール (初級)小学5・6年生

予選・決勝戦 共に2人同時に演武 旗判定で決着

第三位まで入賞

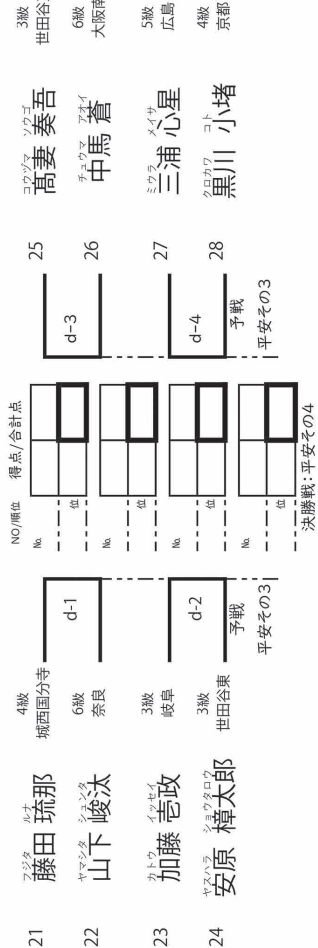


I KO 型競技ルール (上級)小学3・4年生

予選は2人同時に演武 旗判定で決着 決勝戦は3審による得点の合計点

※点数が同点の場合→最低点が低い方が勝ち 最低点同点の場合→最高点が低い方が勝ち 更に同点の場合→再試合(マスト判定)

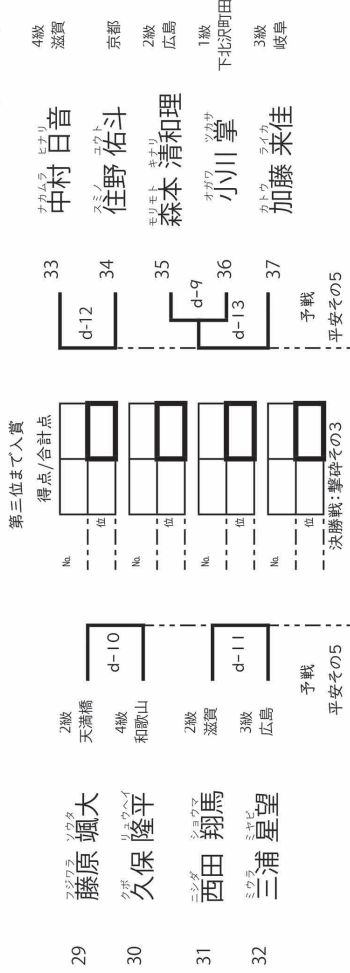
第三位まで入賞



I KO 型競技ルール (上級)小学5・6年生

予選は2人同時に演武 旗判定で決着 決勝戦は3審による得点の合計点

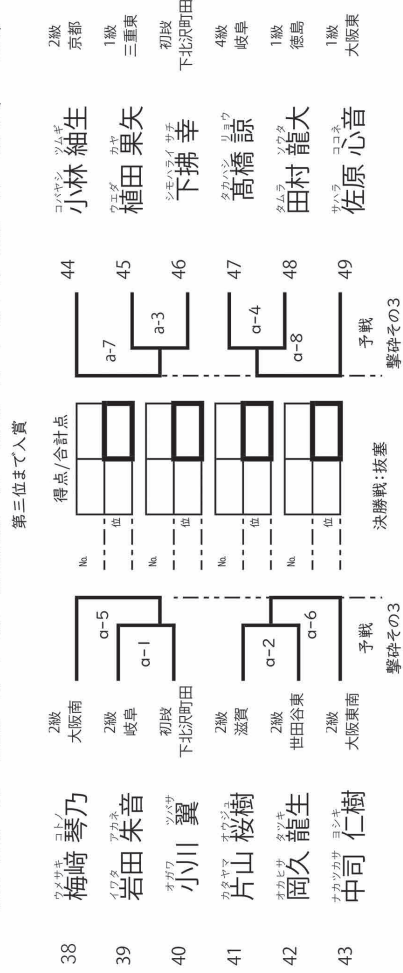
※点数が同点の場合→最低点が低い方が勝ち 最低点同点の場合→最高点が低い方が勝ち 更に同点の場合→再試合(マスト判定)



I KO 型競技ルール (上級)中学生～一般

予選は2人同時に演武 旗判定で決着 決勝戦は3審による得点の合計点

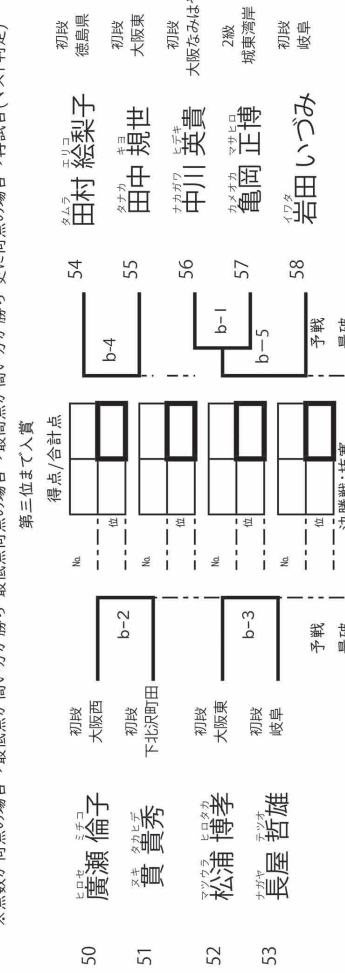
※点数が同点の場合→最低点が低い方が勝ち 最低点同点の場合→最高点が低い方が勝ち 更に同点の場合→再試合(マスト判定)



I KO 型競技ルール (上級)壮年35歳以上

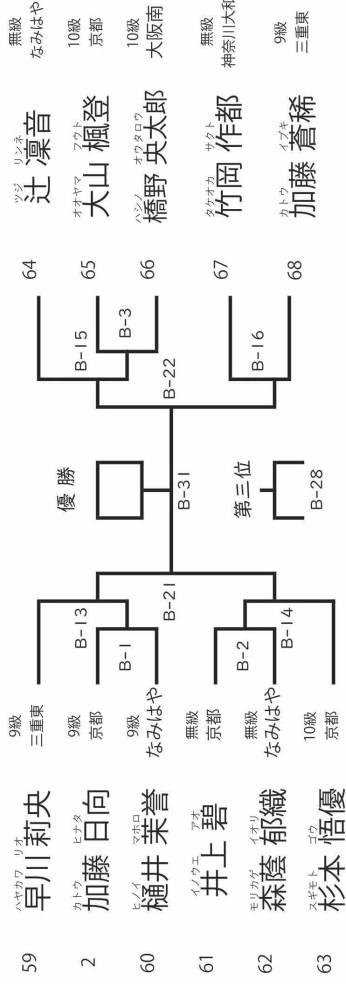
予選は2人同時に演武 旗判定で決着 決勝戦は3審による得点の合計点

※点数が同点の場合→最低点が低い方が勝ち 最低点同点の場合→最高点が低い方が勝ち 更に同点の場合→再試合(マスト判定)



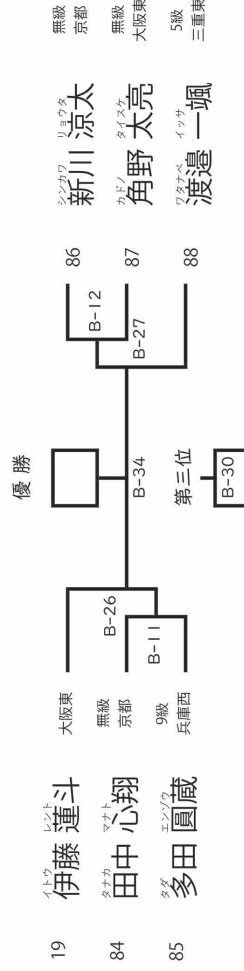
I KO 極真ルール (初級)小学1・2年生男女混合

本戦60秒-延長戦60秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



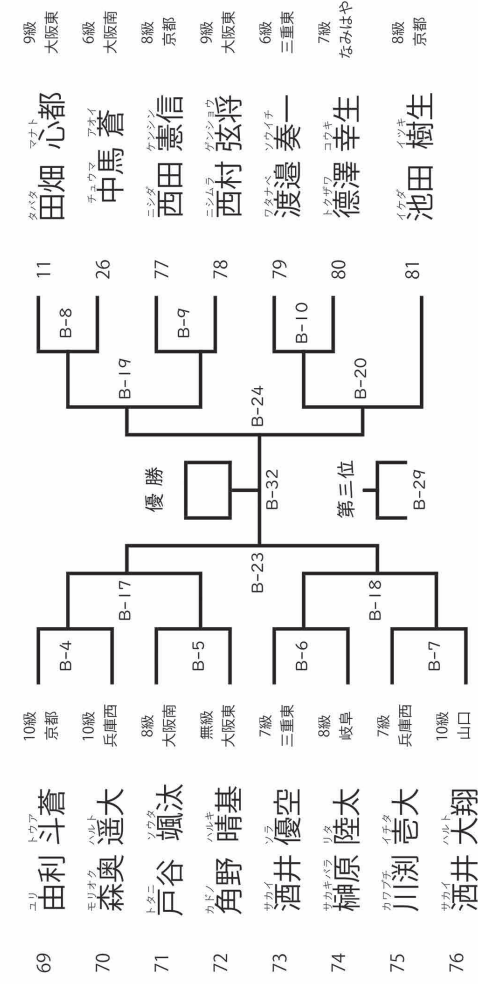
I KO 極真ルール (初級)小学5・6年生 男子

本戦60秒-延長戦60秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



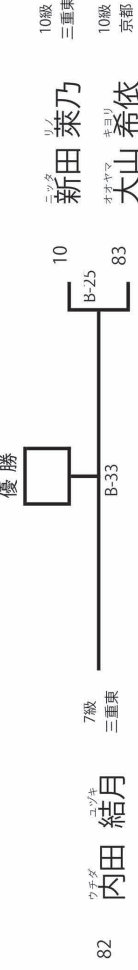
I KO 極真ルール (初級)小学3・4年生 男子

本戦60秒-延長戦60秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



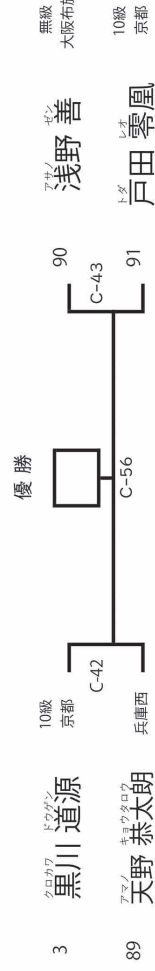
I KO 極真ルール (初級)小学3・4年生 女子

本戦60秒-延長戦60秒-軽い方が勝利 優勝者のみ表彰



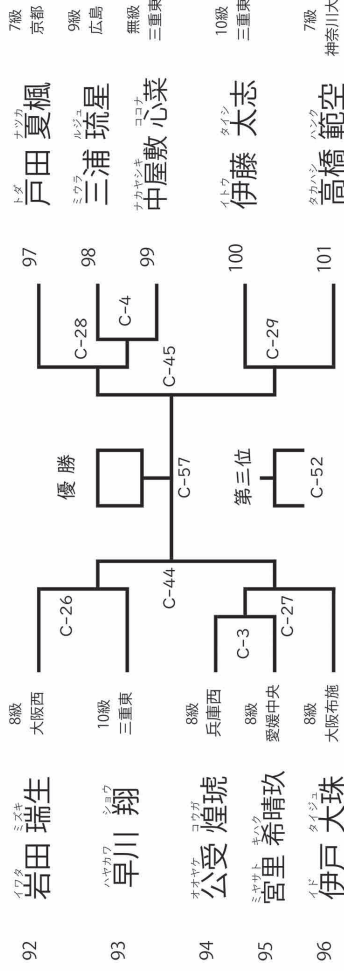
I KO 極真ルール (上級)幼年男女混合

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝・準優勝まで入賞



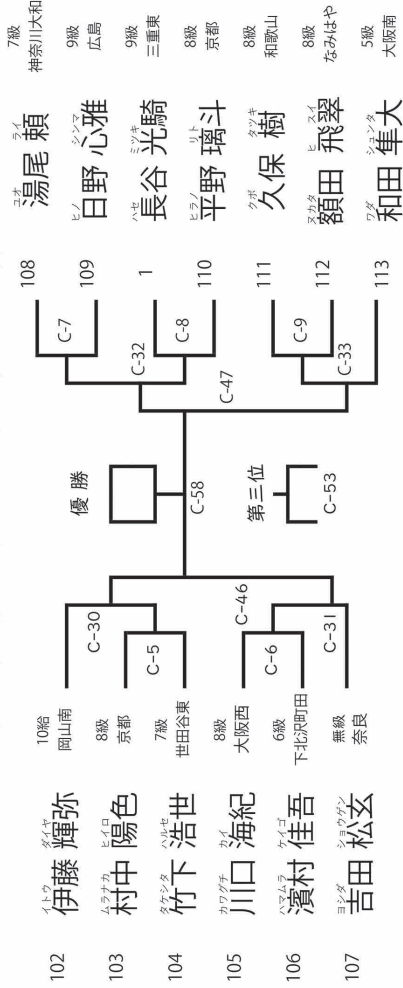
I KO 極真ルール (上級)小学1年生 男女混合

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



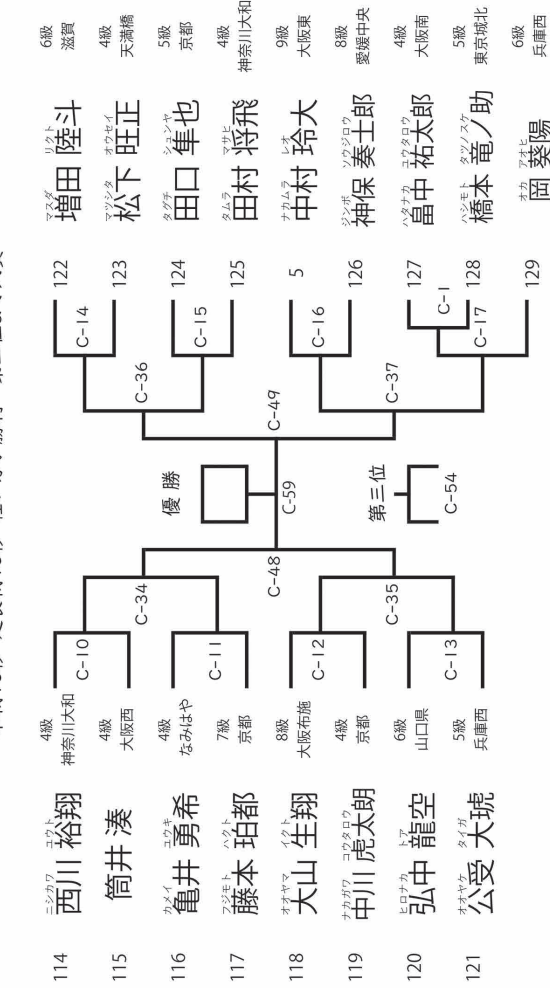
IKO 極真ルール (上級)小学2年生男子

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



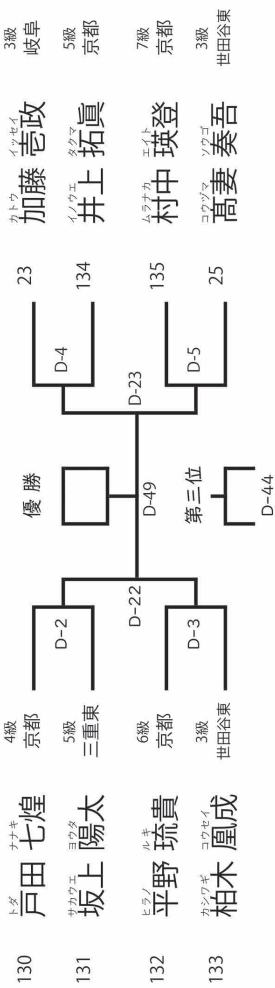
IKO 極真ルール (上級)小学3年生男子

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



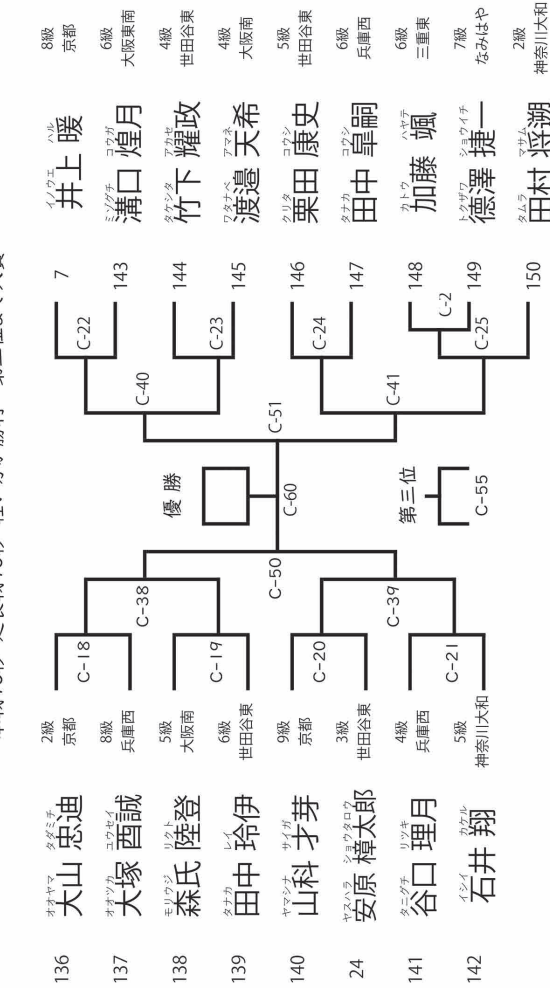
IKO 極真ルール (上級)小学4年生男子 -30kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



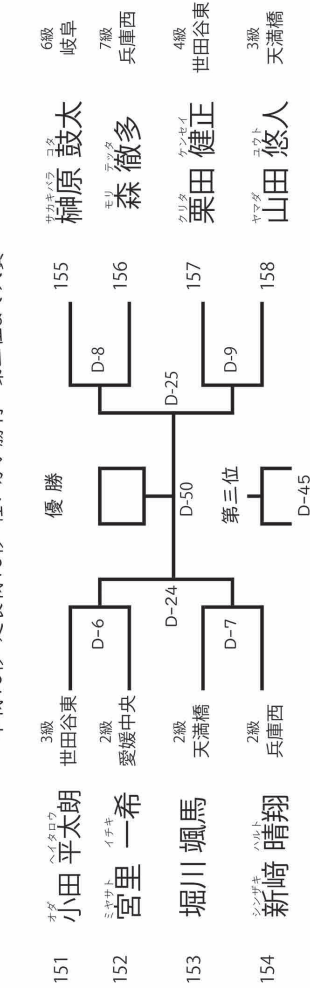
IKO 極真ルール (上級)小学4年生男子 +30kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



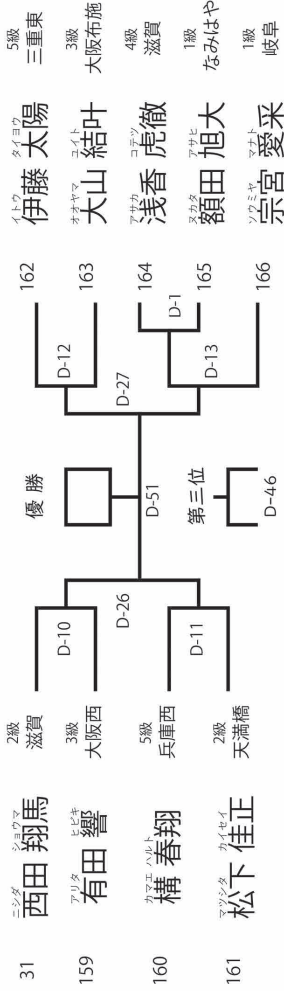
IKO 極真ルール (上級)小学5年生男子 -35kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



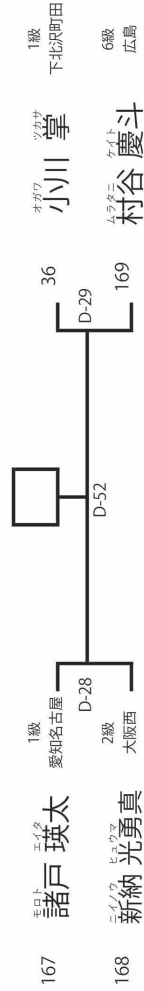
IKO 極真ルール (上級)小学5年生 男子 +35kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



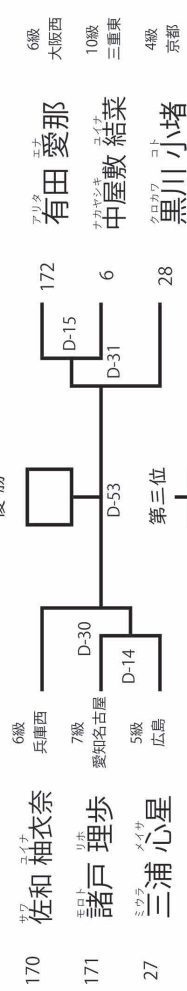
IKO 極真ルール (上級)小学6年生 男子 +40kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝・準優勝まで入賞



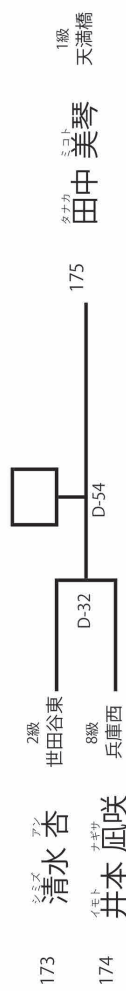
IKO 極真ルール (上級)小学3年生 女子

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



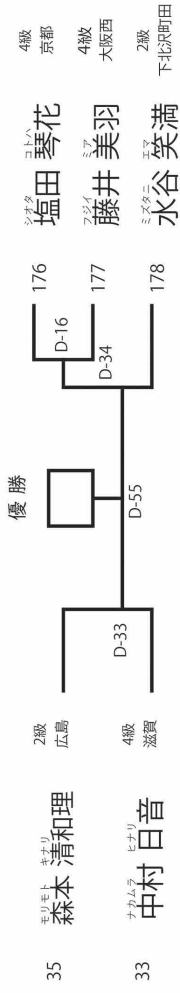
IKO 極真ルール (上級)小学4年生 女子

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝のみ表彰



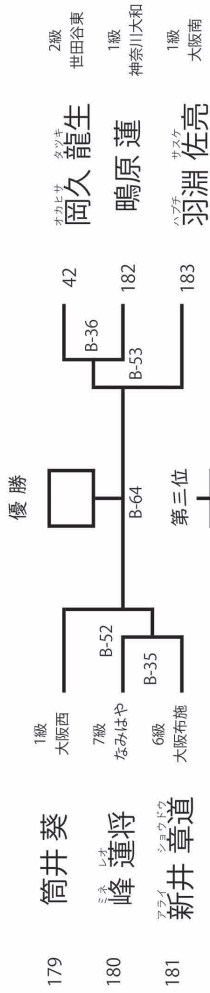
IKO 極真ルール (上級)小学5年生 女子 -40kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝・準優勝まで入賞



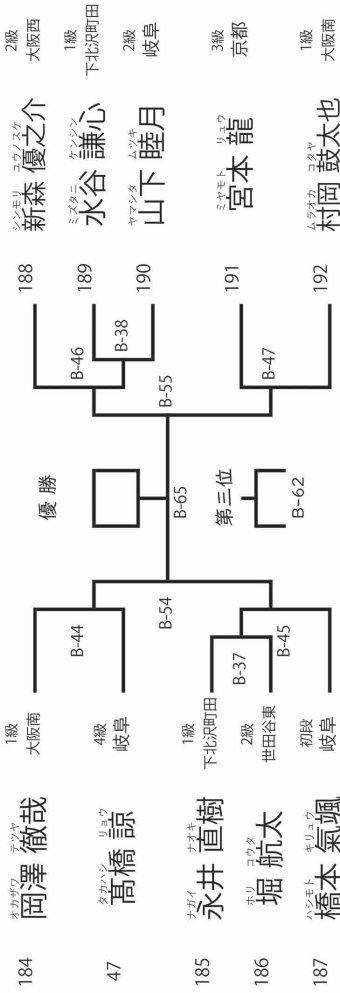
IKO 極真ルール 中学1年生 男子 無差別

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



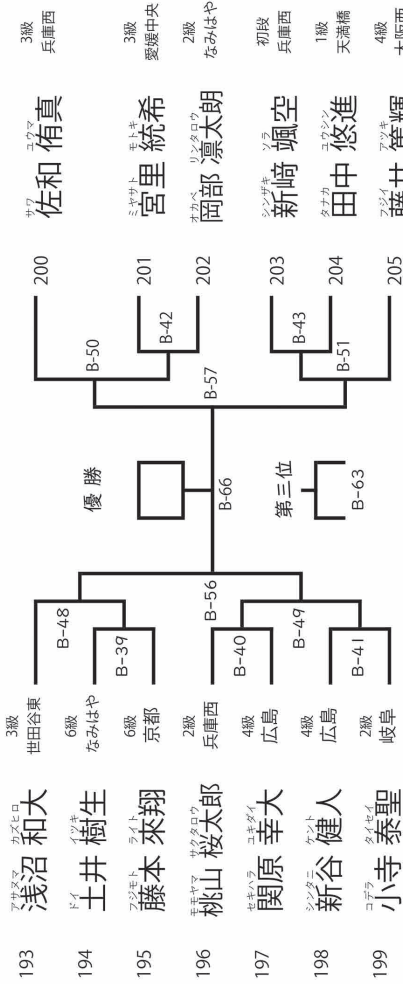
IKO 極真ルール 中学2・3年生 男子 -55kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



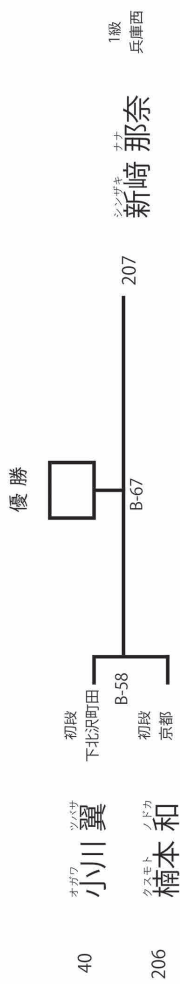
IKO 極真ルール 中学2・3年生 男子 +55kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



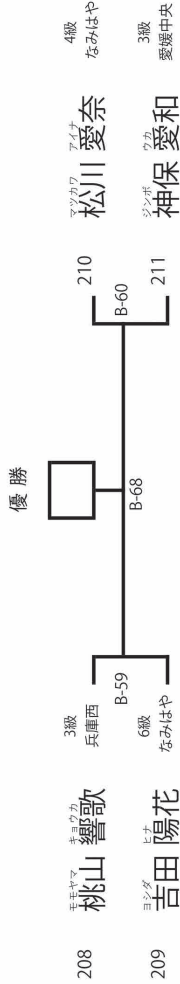
IKO 極真ルール 中学生 女子 -45kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝のみ表彰



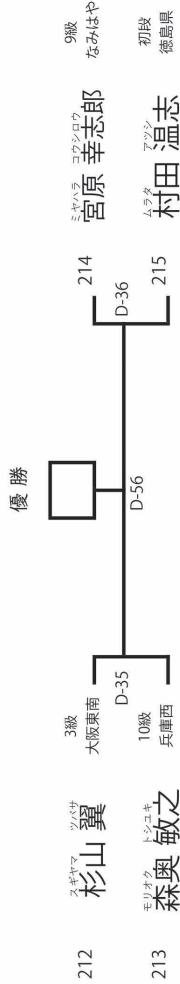
IKO 極真ルール 中学生 女子 +45kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝・準優勝まで入賞



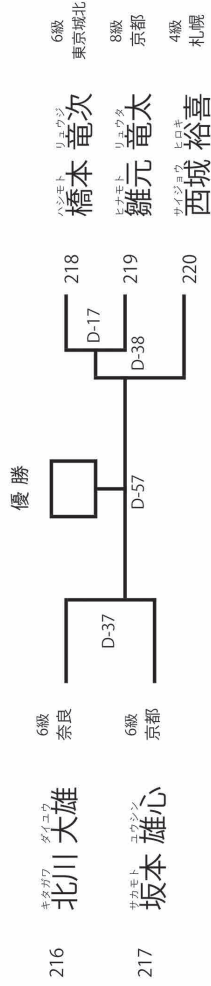
IKO 極真ルール 壮年35歳~42歳 -75kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝・準優勝まで入賞



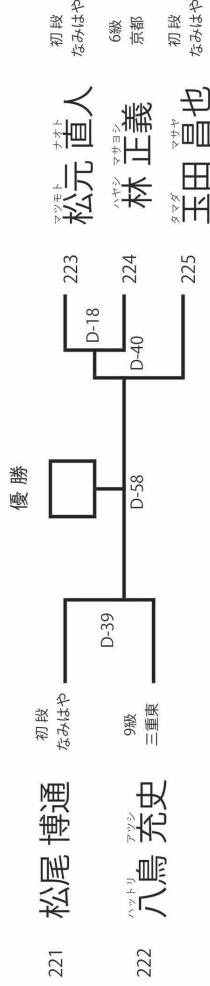
IKO 極真ルール 壮年35歳~42歳 +75kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝・準優勝まで入賞



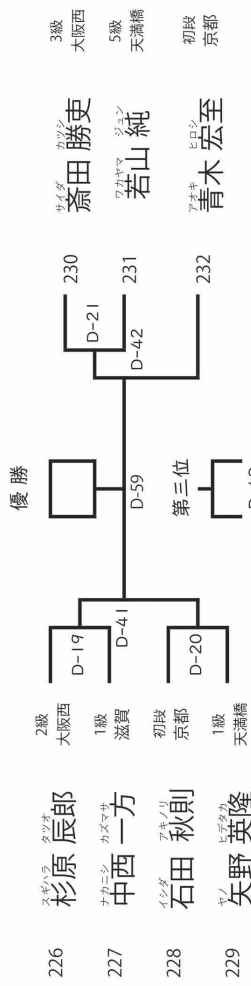
IKO 極真ルール 壮年43歳~49歳 無差別

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝・準優勝まで入賞



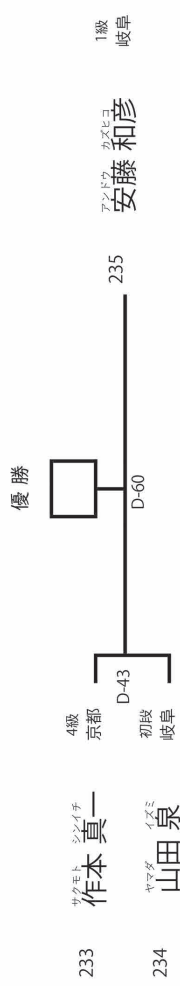
IKO 極真ルール 壮年50歳以上 -75kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



IKO 極真ルール 壮年50歳以上 +75kg

本戦90秒-延長戦90秒-軽い方が勝利 優勝のみ表彰

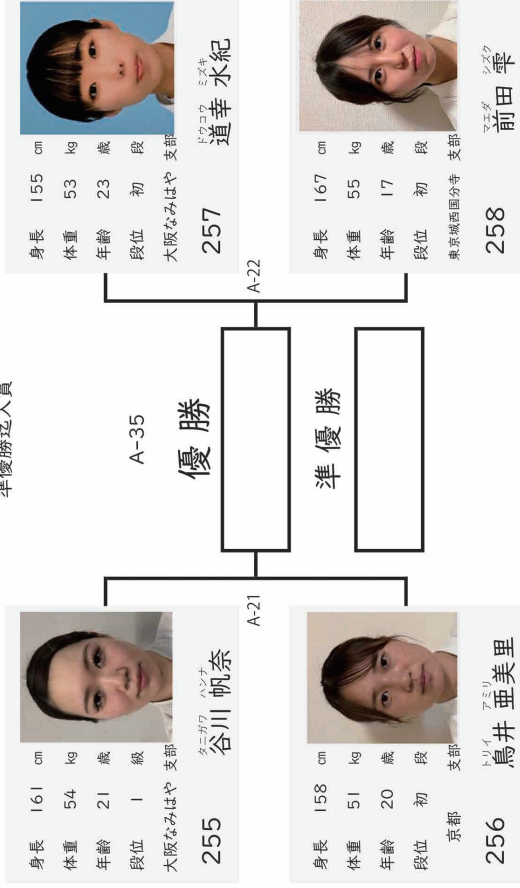


## IKO 極真ルール 一般選手権大会 女子 -55kg

準々決勝迄 本戦2分-延長戦2分-体重判定(有効体重差3kg)-再延長戦2分(マスト判定)

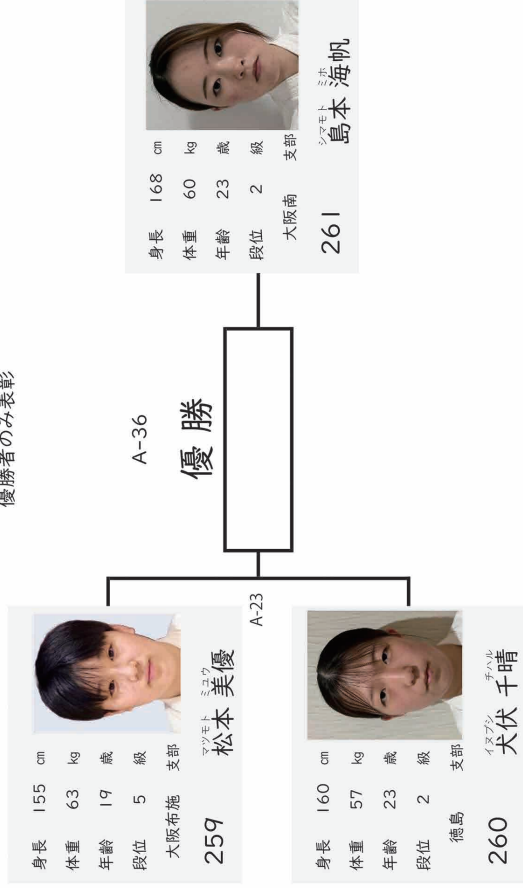
準決勝以降 本戦3分-延長戦2分-再延長戦2分体重判定(有効体重差3kg)-再々延長戦2分(マスト判定)

準優勝迄入賞



## IKO 極真ルール 一般選手権大会 女子 +55kg

優勝者のみ表彰



推しメン・推しガール

### 投票

一般選手権男女限定

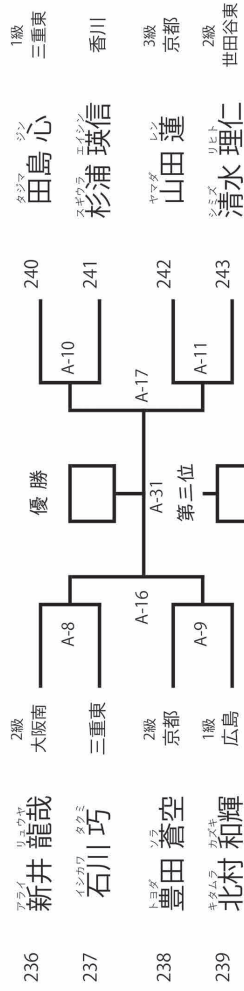
誰でも参加可能!! 皆様の手で最優秀選手賞を決めてください。

- 参加方法
1. 右記QRコードを携帯電話カメラで読み込み
  2. Googleフォームより投票
  3. 一般選手権決勝戦終了後に結果発表



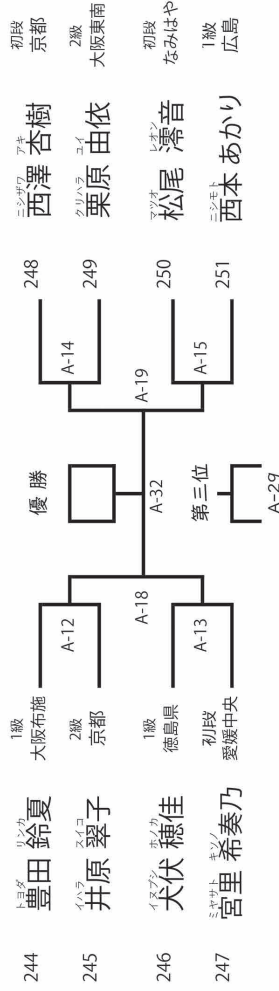
## IKO 極真ルール 高校生 男子 -65kg

本戦120秒-延長戦120秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



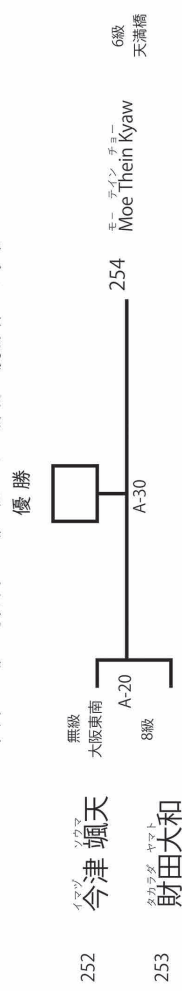
## IKO 極真ルール 高校生 女子 無差別

本戦120秒-延長戦120秒-軽い方が勝利 第三位まで入賞



## IKO 極真ルール 一般新人 男子

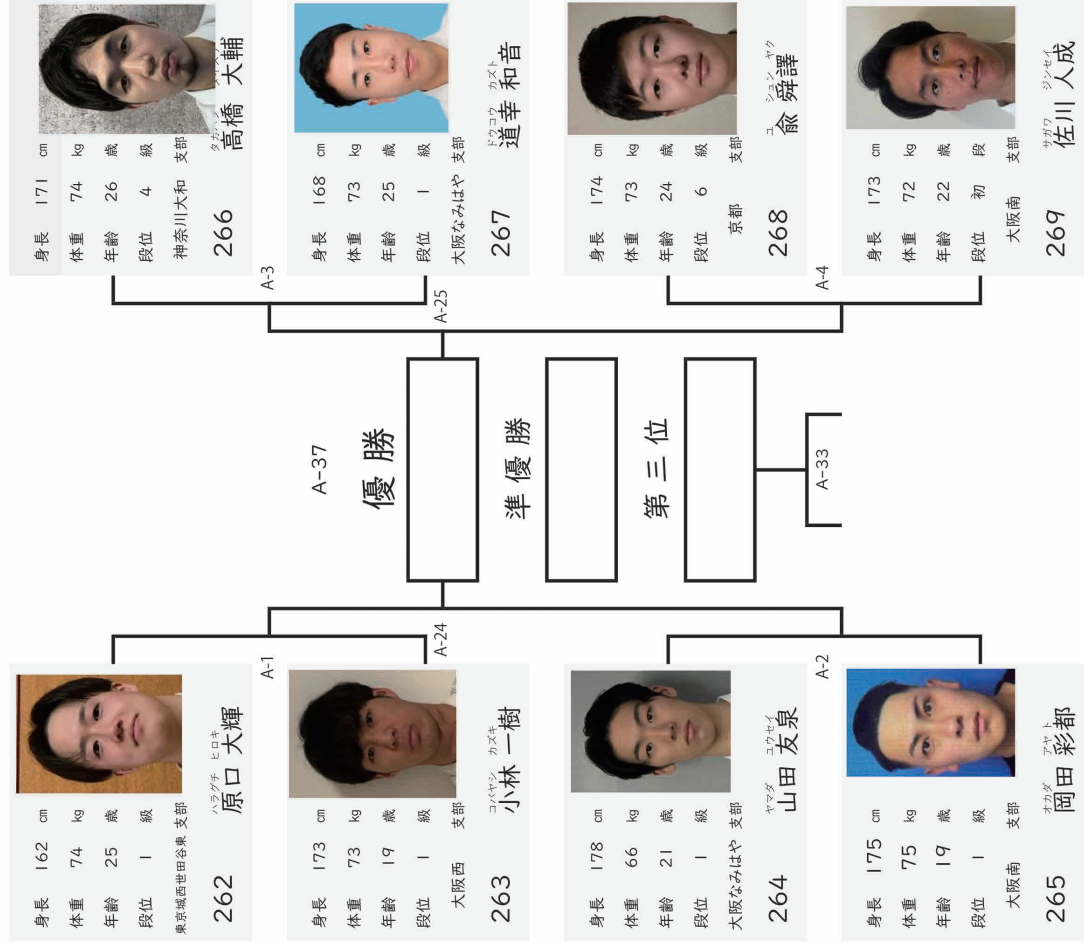
本戦120秒-延長戦120秒-軽い方が勝利 優勝者のみ表彰



# IKO 極真ルール 一般選手権大会 男子 -75kg

準々決勝迄 本戦2分-延長戦2分-体重判定(有効体重差3kg)-再延長戦2分(マスト判定)  
準決勝以降 本戦3分-延長戦2分-再延長戦2分-再延長戦2分(有効体重差3kg)-再々延長戦2分(マスト判定)

第3位迄入賞



推しメン・推しガール

投票

一般選手権男女限定

誰でも参加可能!! 皆様の手で最優秀選手賞を決めてください。

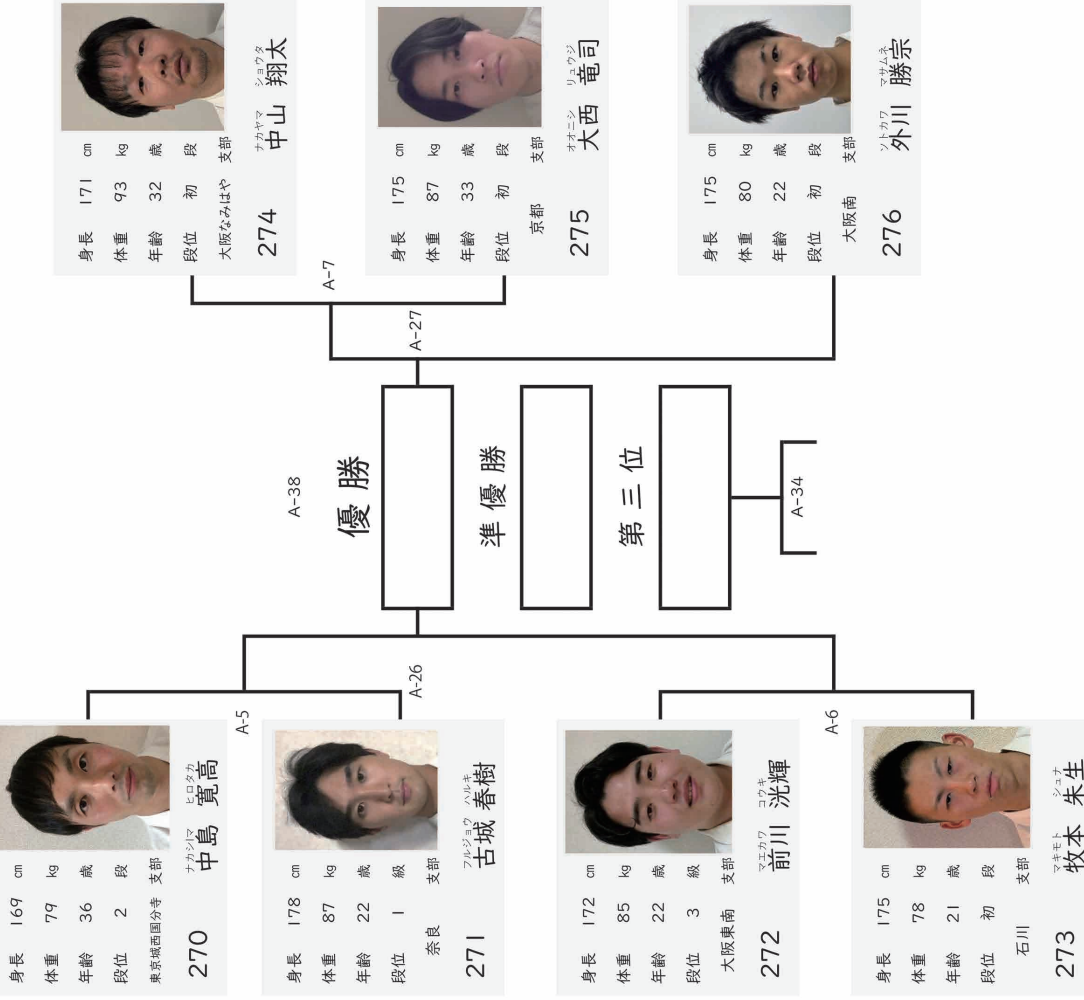
- 参加方法
1. 右記QRコードを携帯電話カメラで読み込み
  2. Googleフォームより投票
  3. 一般選手権決勝戦終了後に結果発表



# IKO 極真ルール 一般選手権大会 男子 +75kg

準々決勝迄 本戦2分-延長戦2分-体重判定(有効体重差3kg)-再延長戦2分(マスト判定)  
準決勝以降 本戦3分-延長戦2分-再延長戦2分-再延長戦2分(有効体重差3kg)-再々延長戦2分(マスト判定)

第3位迄入賞



推しメン・推しガール

投票

一般選手権男女限定

誰でも参加可能!! 皆様の手で最優秀選手賞を決めてください。

- 参加方法
1. 右記QRコードを携帯電話カメラで読み込み
  2. Googleフォームより投票
  3. 一般選手権決勝戦終了後に結果発表





ストレッチエリア



フリーウエイト



サーキットトレーニング



ダンベル



有酸素系マシン



詳細はコチラ

24H OPEN FITNESS GYM  
**Sporle**  
Light-Fitness & Stretch  
スポーレ  
24時間フィットネスジム

生徒募集  
月会費 **¥2,980**  
【税込¥3,278】

〒593-8311 大阪府堺市西区上441-1 阪本ビル1F【大阪南支部堺本部道場下】



株式会社フィット・プラス1

**FIT PLUS1**

**株式会社 フィットプラス1**

〒595-0804 大阪府泉北郡忠岡町馬瀬3-10-7 TEL. 072-523-7321

株式会社フィット・プラス1は、木製品の製造を行っている会社です。

フィットプラス1 オリジナルブランド

イージーオーダー収納家具

**フィット**

ピッタリサイズの  
収納家具



- ・規格のデザインで、ご希望に応じた巾・高さで製作します。
- ・洋服ダンス・ロッカー・書棚・食器棚など多目的にお使い頂けます。



**第37回全関西空手道選手権大会**

建設資材総合商社



株式会社

イナモト

〒599-8251 大阪府堺市中区平井178番地2

TEL : 072-270-7007 (代表)

FAX : 072-270-7088

すき焼きとおばんざいの店

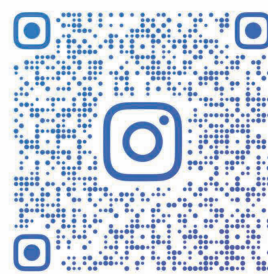


SUKI

店主

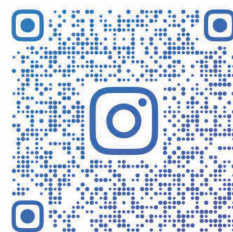
甲田 哲朗

Tetsuro Kota



@SUKIYAKI.OOTORI

第37回全関西空手道選手権大会

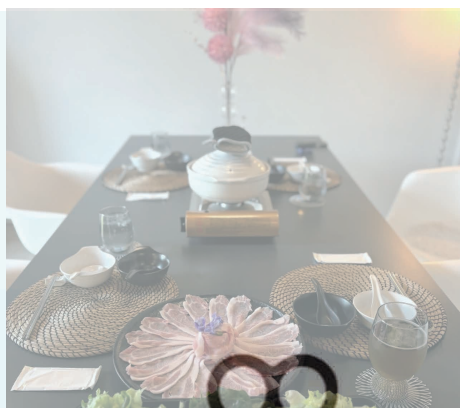
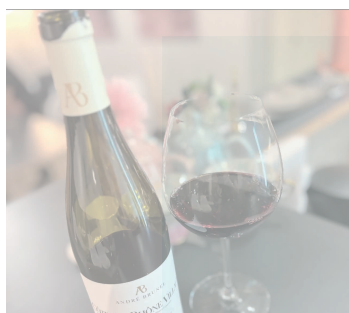


@AZU\_HOME1008

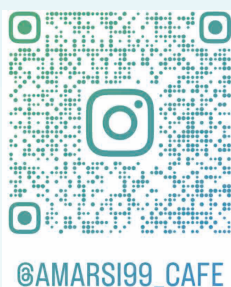


大阪府泉佐野市中町2丁目1-3 1階101号

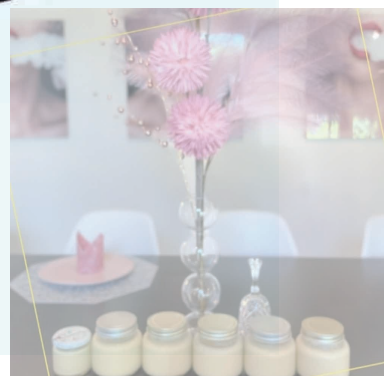
TEL・FAX072-462-6777



amarsi99



@AMARSI99\_CAFE



# MVPは誰だ？

一般男子・一般女子

貴方の1票が、新たな伝説を創る。  
今日、最も魂を揺さぶられた選手は誰だ!!

## 推しメン・ガール投票

- ①下記QRコードより投票
- ②一般選手権決勝戦終了後締切・集計
- ③最多投票獲得者をMVPに認定・表彰



最多得票者には記念の盾を贈呈いたします。

第37回全関西空手道選手権大会